

平成22年 1月 20日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 常陸太田市立佐竹小学校 担当教諭名 鴨志田 祐一

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年 1月 20日 (水) 9:30 ~ 12:50
対象学年と人数	6年生 69人
派遣講師名と出身国	・アメリカ合衆国 ジェフリー・バーク ・フランス共和国 オルレアン・バロン ・エチオピア連邦民主共和国 タスフェイエ・ガライヤ
活動の内容	・ワークショップ 「地球家族」 ・アメリカ合衆国のお話、講師の故郷のお話 ・フランス共和国のお話、講師の故郷のお話 ・エチオピアのお話、講師の故郷のお話
生徒・保護者等参加者の感想	世界には様々な環境で暮らす多くの人たちがおり、みなそれぞれに幸せの形をもっていることを知りました。便利なものにあふれる幸せ、笑顔につつまれた幸せ、家族と共にいる幸せなどと、いろいろな幸せがありました。日本に住む自分たちにとっては、厳しいと思える生活でも、価値観が変われば幸せになると知りました。 「地球家族」のまとめで、バロンさんが、 「世界にはいろいろな価値観があり、日本で当たり前と思っていることが、C国では当たり前にならない。いろいろな価値観があって、それでいいのです。自分と違うからといって、差別しないで下さい。」 と言っていたのが、心に響きました。
先生の感想	本物の外国の方と話ができたことは、子どもたちにとって、最高の国際理解になったと思います。さらに、講師のオルレオン・バロンさんやジェフリー・バークさん、タスフェイエ・ガライヤは、自分の生まれた国について具体的な資料を提示して分かりやすく説明をしてくださいました。楽器や遊具など、母国で使っている実物に触れることができたことも、外国を知るよい機会になったと思います。 ワークショップ 「地球家族」で「一番幸せな家族」に見える写真を選ぶ活動を通して、子どもたちは、「何が幸せなんだろう」と自分達の生活と比べたり、ふり返ったりすることができました。「幸せな家族」の判断には、いろいろな基準があり、さらに、バロンさんが「いろいろあっていい。」と言って下さったことで、異文化の基本を知ることができました。 ワールドキャラバンは、異文化に触れるとてもいい機会となりました。三人の講師の方に感謝申し上げます。

